

平成27年度事務事業評価シート

取組みコード 2122

区分	補助金・交付金	担当課	消防課	作成日	平成27年5月8日
事業名	県央都市消防団長会負担金	開始年度	不明	予算科目	8.1.2.1.1

1 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり
章	第1章 災害対策と安全対策
節	第2節 消防・救急体制の充実
基本施策	2 消防体制の充実
取組みの基本方向	
根拠法令等	消防組織法第6条、第39条
目的 (誰・何を対象に、何のために)	県央地区9消防団で組織される団長会に加入することで、消防団運営の情報交換を行うとともに、消防団相互の親睦を図ることを目的とする。
内容・方法 (何をやっていくのか)	協議会に参加し負担金を支出している。 協議会の経費は各市町村の負担金が充てられ、①消防情報の交換に関する事、②消防団運営の調査研究に関する事、③消防団相互の親睦に関する事、④その他目的達成上に必要な事業を行っている。

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標	指標名		平成21年度	平成28年度			
	『消防・救急体制の充実』について「満足」と感じる住民の割合		54.3%	57.0%			
(A) 総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果		研修会等を実施し消防体制の充実を図る					
(A) の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業の実施回数	増	同左	計画値	/	8.0	7.0	7.0
			実績値	7.0	8.0	6.0	
			達成度※自動計算	/	100.0	85.7	0.0
(B) 成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動		本事業は負担金の負担のみであるため、町の活動としては、請求書の受理、審査等だけであることから、活動指標の設定は行わない。					
(B) の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明	項目	/	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			計画値	/	/	/	/
			実績値	/	/	/	/
			達成度※自動計算	/	計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)	70,000	70,000	70,000	70,000
(B) 概算職員数(人)	0.050	0.050	0.050	0.050
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	415,000	415,000	415,000	415,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	485,000	485,000	485,000	485,000
単位当たりコスト※自動計算		69,285.7	60,625.0	80,833.3
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源※自動計算		485,000	485,000	485,000

4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 <small>(公費を投入して実施することが妥当な事業か)</small>	法令等で義務付けられた事業である		C
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない		
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている		
	受益に応じた負担は適正である	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である		
	町民の日常生活に必要な事業である		
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 <small>(基準年と比較して成果が上がっているか)</small>	成果指標について平成26年度の目標を達成している	×	C
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
効率性 <small>(なるべく費用をかけずに成果を上げているか)</small>	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減<成果ダウン	C
有用性 <small>(施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)</small>	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		廃止も含めた検討が必要	

5 特記事項

県央地区9都市の消防団をもって組織し活動している。
平成26年度は台風の影響により、予定していた事業が実施できなくなったため、成果が低下している。

6 自己評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
理由	本事業の遂行に課題が無いため
今後の方向性	更に充実した研修会等が開催できるよう、他市町村と連携して取り組む。

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	妥当性の判定がCとなっているが、管理的な性質の事業であり、町民に直接成果が還元されるものではないため、止むを得ないものと考えられる。また有効性、効率性の判定がCとなっているのは、平成26年度の事業が台風のため中止となったことに伴うものであり、止むを得ない面があることから、所管課の方向性のとおり現状維持とする。

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 再構築 <input type="radio"/> 廃止
理由・改善方針	現状のまま引き続き事業を実施する。